



東海大学家族看護研究室 公開講座

オンラインセミナー

なぜ臨床家は感性を磨かなければならないか？

これまで私たちは臨床現場で患者を「個」として捉え、それに付随するかたちで家族を含む環境問題を絡めて理解することを自明としてきた。しかし、最新の神経生物学や遺伝学の知見は、病態を複雑な遺伝・環境要因と発達の段階によって生成されたものとして捉える視点の重要性を指摘する。子どもに限らず患者の病態を関係（遺伝と環境）の文脈で捉え、そこで起こっている事象の意味を発達過程の中に位置付けて考えるということである。私は東海大学時代に母子ユニットを創設し、そこで乳幼児を養育者との関係の相で捉え、理解し、介入し、新たな知見を蓄積してきた。そこで行き着いたのが「感性教育」の重要性である。参加者に「関係をみる」ことを実際に体感してもらい、自らの感性を刺激していただく。

【対象者】

家族ケアに関わる方
職種は問いません

【日時】 2022年7月31日(日) 14:00～15:30

【会場】 Zoomによるオンライン

【参加費】 無料

【申込方法】 QRコードもしくは以下URLよりお申込みください。

<https://forms.gle/jPzfQGUz3EEvxKoJ9>

後日、ミーティングID・パスコードを送信いたします。



講師：小林隆児先生 児童精神科医

【プロフィール・略歴】

九州大学医学部卒業、児童精神科としての臨床経験を経たのち
東海大学健康科学部社会福祉学科教授、大正大学人間学部臨床心理学科教授
西南学院大学大学院人間科学研究科臨床心理学専攻教授などを歴任
現在、感性教育臨床研究所 代表 <http://kansei-kobayashi.com>

【著書】母子関係からみる子どもの精神医学、遠見書房、2019

関係の病としてのおとなの発達障碍、弘文堂、2018 他多数



家族ケアに興味のある方、お気軽に申し込みください。

TEL 0463-93-2067 (直通)

お問い合わせ URL <https://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp/kangoken.html>

E-mail rinoue@is.icc.u-tokai.ac.jp